



2026年5月13日

各 位

会 社 名 バーチャレクス・ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 丸山 栄樹
 (コード：6193 東証グロース)
 問合せ先 取締役 経営管理本部長 黒田 勝
 (TEL. 03-3578-5300)

特別損失の計上及び2026年3月期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、当連結会計期間（2025年4月1日～2026年3月31日）において投資有価証券評価損を特別損失として計上いたしました。また、2025年5月13日に公表いたしました2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 特別損失（投資有価証券評価損）の計上

当社は、超過収益力を考慮して行ったKotozna株式会社に対する投資有価証券について、同社の事業が想定通りの事業拡大が実現できていないことを受け、超過収益力の毀損に起因する投資有価証券評価損402百万円を特別損失として計上を致しました。

2. 2026年3月期連結業績予想と実績値の差異

(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 6,900	百万円 330	百万円 320	百万円 200	円 銭 71.90
実 績 (B)	6,880	394	442	△81	△28.74
増 減 額 (B - A)	△19	64	122	△281	
増 減 率 (%)	△0.3	19.6	38.4	—	
(参 考) 前 期 実 績 (2 0 2 5 年 3 月 期)	6,488	279	185	111	39.22

2. 業績予想との差異が生じた理由

2025年5月13日に公表いたしました連結業績予想につきまして、IT&コンサルティング事業では、前連結会計年度より開発に手数を要していた株式会社タイムインターメディアの大型案件の収束目途が概ね立ち、仕様変更に伴う追加受注が発生したため、プロジェクト採算性が想定を上回ったことを主たる要因として、前回予想に対して売上高が10百万円、セグメント利益が76百万円上回りました。アウトソーシング事業では、一部の顧客について顧客都合での契約不継続等が発生し、前回予想に対して売上高で30百万円、セグメント利益で82百万円下回りました。

販売費及び一般管理費については引き続き圧縮を行う中で、当連結会計期間において、前回予想で見込んでいなかった当社が出資する投資事業組合（12月決算）に関する投資事業組合運用益40百万円を営業外収益に

て計上いたしました。以上の結果、営業利益、経常利益について、いずれも前回予想を上回る結果となりました。

一方、上記に記載いたしました投資有価証券評価損 404 百万円を特別損失として計上することから、親会社株主に帰属する当期純利益について、前回予想を下回る結果となりました。

(注) 上記の予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以 上